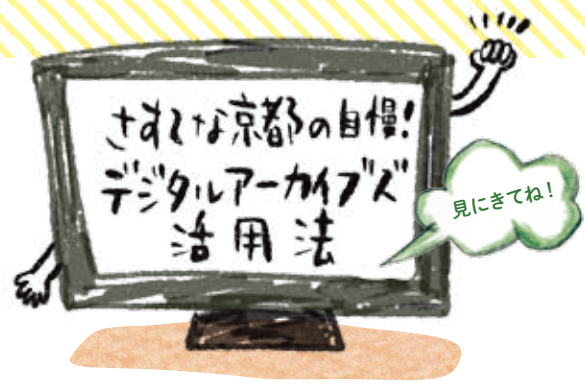




【第1回】 デジタルアーカイブズとは？

ごみに関するさまざまな情報が集められ、デジタル情報として記録された保管場所のことです。今回から毎号、1階のエコラウンジにある「デジタルアーカイブズ」についてご紹介します。



デジタルアーカイブズコーナー

さすてな京都のデジタルアーカイブズでは、京都市がこれまで建設してきたクリーンセンター（かつては清掃工場・塵芥焼却場と呼びました）やリサイクル施設をはじめ、まち美化事務所、公衆トイレなどの写真などを収集・保存しています。また、京都市や環境省が発行した最近のパンフレット、環境関連の映像なども保存。さらに、京都市の古い写真（明治時代～昭和初期）や現在のまち並み、寺院、お祭りなどの写真もご覧いただけます。



横大路塵芥焼却場(昭和11年竣工)



デジタルアーカイブズメニュー画面

2020年 イベントカレンダー

1月 January

月	火	水	木	金	土	日
	1 元旦	2	3	4	5	★
6	7	8	9	10	11	★
13 成人の日	14	15	16	17	18	★
20	21	22	23	24	25	●
27	28	29	30	31		

2月 February

月	火	水	木	金	土	日
					1	2 ※1
3	4	5	6	7	8	9
10	11 建国記念の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 天皇誕生日
24 振替休日	25	26	27	28	29	

※1 科博連サイエンスフェスティバル 出張参加

3月 March

月	火	水	木	金	土	日
					29	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20 春分の日	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 無料シャトルバス運行日
- 休館日
- 生涯学習講座（無料・詳細は要問合せ）

- ※2 親子向けイベント・さすてな春フェス開催
- 子ども学習プログラム 各日13:15～13:45
- さすてな☆こども発電所
- ★ さすてな☆いきもの探偵団
- ▼ さすてな☆リユース工作

工場の自由見学について

さすてな京都開館日は、個人・グループを問わず予約なしで自由に見学ができます（10名以上の場合はできるだけご連絡ください）。解説員は付きませんが、希望者には見学者用のタブレットを貸与します。※タブレットの数に限りがあるため先着順となります。

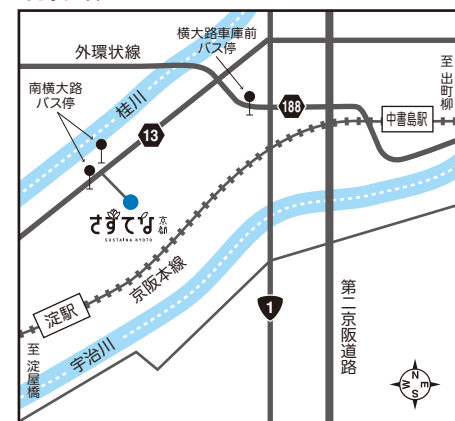
団体予約方法

京都市内の小学校ほか、一般の団体（10名以上のグループ）に向けて、解説員がご案内するツアーを開催します。※団体見学は原則10名以上から受け付けます。9名以下のグループや個人の方は、定時ツアーや自由見学でご見学ください。

【予約方法】

- 希望日の前日までに「さすてな京都」へ仮予約の電話（TEL:075-606-2548）
- 「さすてな京都」のWEBサイト「工場見学予約」ページの「申込書ダウンロード」をクリック
- 申込書に必要事項を記入の上、FAXかメールでさすてな京都に送付
※年度単位で予約受付します。令和2年度の予約受付は、令和2年2月ごろから行います。

- ・開館時間：9:00～17:00（足湯は～16:30・雨天、荒天の場合は足湯を閉鎖します）
- ・休館日：水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌日）年末年始（12月29日～31日、1月1日～1月3日）
- ・見学無料



無料シャトルバス



無料シャトルバス（土・日・祝日・学校の長期休業期運行）
・京阪電車「中書島駅」・市バス「横大路車庫前」より運行（詳しくはホームページ）

公共交通機関

- ・京阪電車「中書島駅」または「淀駅」から市バス20号系統・京阪バス26系統に乗り、「南横大路」下車徒歩5分
- ・市営地下鉄・近鉄電車「竹田駅」東口から市バス81・105・南5・南8号系統に乗り、「横大路車庫前」下車徒歩20分

編集・発行：

京都市南部クリーンセンター環境学習施設

京都市伏見区横大路八反田29番地

TEL 075(606)2548 FAX 075(606)2549

info@sustaina-kyoto.jp https://sustaina-kyoto.jp

SUSTAINA KYOTO
（運営受託者：京都市南部クリーンセンター環境学習施設運営グループ）

さすてな京都だより

創刊号

発行：令和2年1月

京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」広報誌



オープニングイベントでの「千両松」の植樹式

さすてな京都は、令和元年10月5日の開館に合わせて、オープニングイベントを開催いたしました。

ステージではα.StationのDJ・寺田有美子さん、西田育弘さんが進行を担当。京都市立桃陵中学校吹奏楽部によるオープニング演奏から始まり、施設紹介やクイズ大会など各種イベントが行われました。

また、伏見ならではの日本酒のみくらべブースやパッカー車積み込み体験、おもちゃの交換会『かえっこバザール』、『宝探し大作戦!』、『千両松』の植樹式など内容盛りだくさん。大勢の方に楽しんでいただくことができました。今後も多くの方に親しまれる施設になるよう努めてまいります。

令和元年10月5日
OPEN!

contents

さすてな京都とは
さすてな京都工場見学の見どころ紹介
デジタル・アーカイブズ活用法
2020年 イベントカレンダー



さすてな京都開館しました！

さすてな京都とは

さすてな京都は、京都市南部クリーンセンター第二工場に整備された環境学習施設です。この施設が担う役割についてご紹介します。

さすてな京都の使命

ごみ処理施設である京都市南部クリーンセンターそのものを利用した環境学習施設として、さすてな京都は、楽しみながら学ぶことで、みなさんの環境に対する意識を高めることを目標にしています。

南部クリーンセンター第二工場は、ごみ発電のほかごみ処理施設に併設のものとして、大都市では珍しい「バイオガス化施設」があります。この施設では、生ごみを発酵させてきたバイオガスで発電するなど、先進的なエネルギー回収技術が活かされています。また、大型ごみから、アルミニウムや鉄を資源として再利用するために回収する「選別資源化施設」もあります。

さすてな京都では、工場見学だけでなくごみ減量や地球温暖化、生物多様性や地域環境などを題材に、ライフステージに応じたさまざまな学習プログラムを用意し、子どもだけでなくその保護者や学生、一般企業など多様な興味関心に沿った学習機会を提供していきたいと考えています。



さすてな京都の名前の由来

施設の愛称を公募し、応募総数475件のなかから選ばれました。最先端の「さ」、素晴らしいの「す」、展望台の「て」、南部クリーンセンター「な」の頭文字、そして「持続可能な」という意味の英単語「サステナブル sustainable」から名付けられた名前です。

ロゴデザインについて

【デザインコンセプト】

かつて巨椋池・横大路沼は、夏になると水面にハスの花が咲き乱れ、洛南の風物詩として有名でした。ハスは昔から、泥の中から茎を伸ばして花を咲かせるため、清らかに生きることの象徴とされてきました。

「サステナブル」な未来に向けて咲かせる花として、この施設をみたくて制作しました。公共施設でもあることから、業務の正確性などのイメージを、円形などの精緻な図形で、ひらがなの要素を構成し、読みやすさも確保しながら、信頼性と親しみやすさを併せ持つデザインにしました。



さすてな京都ロゴ
(制作：京都市立芸術大学准教授 舟越一郎)

新しい「南部クリーンセンター第二工場」の特徴

【ごみ焼却施設とバイオガス化施設・選別資源化施設】

南部クリーンセンター第二工場は、家庭から出た燃やすごみなどを焼却処理する「ごみ焼却施設」を中心とした施設です。また、生ごみなどを発酵させて発生したメタンガスを活用する「バイオガス化施設」、大型ごみなどを破砕して資源となる鉄やアルミニウムを選別回収する「選別資源化施設」も併設されています。



発酵槽



選別資源化施設

京都市では初めての、
大型ごみから鉄以外の
金属を選別回収する
「選別資源化施設」です



【エネルギー回収の最大化】



バイオガス化施設を
併設する
ごみ処理施設は、
政令指定都市初！

「ごみ焼却施設」では、ごみの焼却で生じる熱を利用して発電するごみ発電を行っています。さらに「バイオガス化施設」でも、発生したメタンガスをういてバイオガス発電を行い、ごみが持つエネルギーの回収を最大化することで、温室効果ガスの削減を目指しています。

【環境にやさしい施設】

太陽光発電(出力175kW)の導入や、LED照明の全面採用など徹底した省エネや、地下水や雨水の利用といった資源の有効利用を行っています。また、建物の内装には、地域林業を活性化させ森林機能の増進を図る地域産木材「みやこ^{そまぎ}杉木」を積極的に活用するなど、環境に最大限配慮しています。



もちろん、環境学習施設
「さすてな京都」も
大きな特徴です



さすてな京都には、楽しく学べる仕掛けがいっぱい！

さすてな京都工場見学の見どころ紹介

さすてな展望台 工場見学通路 煙突棟

さすてな京都がある京都市南部クリーンセンター第二工場では煙突に展望台が設置されています。煙突の高さは約78m、展望台は約66mの高さです。京都ならではの素晴らしい景色を眺めることができ、タブレットを使用して横大路地域の地形や自然、歴史などを学ぶことができます。

展望台からは桂川・宇治川など横大路地域の風景はもちろん、この工場や他のクリーンセンターから出た灰を埋め立てる最終処分場「エコランド音羽の杜」へ至る道も見ることができます。もちろん工場見学のルートにもなっているので、ぜひのぼってみてください。



屋上広場・足湯 3階

工場見学に疲れたら、ぜひ屋上広場で休憩してください。備え付けのベンチのほか、ひろびろとしたスペースに芝生が植えられたエリアにはごみの持つエネルギーを利用した足湯があり、見学の疲れを癒してくれます。屋上広場は、足湯以外の場所では飲食ができるので、お弁当を持って来るのもさすてな京都おすすめの楽しみ方です。今後は、この場所を利用したイベントも計画しています。



トリックアート 工場見学通路 2階

工場見学通路「1 プラットホーム」のエリアには、バッカー車(ごみ収集車)にごみを積み込むトリックアートを設置。サインで示す位置から撮影すると、まるでそこにあるかのように立体的に見える写真が楽しめます。

京都市内で定期収集される「燃やすごみ」は、このプラットホームの真上にある3階プラットホームへ、バッカー車で持ち込まれます。そして工場見学通路5階「3 ごみビット」から覗くごみビットに投入されます。



ごみクレーン操作体験 工場見学通路 5階

工場見学通路の5階「ごみビット」エリアには、ごみクレーンがあります。ごみビットのごみをかき混ぜたり、「2 焼却炉」へ繋がる焼却ホッパや「9 バイオガス化施設」へと繋がるバイオガス化ホッパなどに移動したりする設備です。ごみクレーンの操作は通常自動運転ですが、必要に応じて手動でも行われています。

ここでは、実際と同じ操作で動くクレーンゲーム機で、ごみクレーンの操作体験ができます。操作卓は本物と同じものですので、ごみクレーンの操作は意外と難しいですが、ぜひ挑戦してみてください。

